

2023年12月13日(水) 第に水曜祈祷会

箴言24章1～22節

『隣人愛の勧め』

【観察と黙想】

1. 「知恵は勝利の秘訣」(1～6節) *「主を恐れること」は知恵の初め(悪を憎むこと 8:13)。

①著者はなぜ悪い者たちを羨むな、ともにいることを望むなと言うのですか(1、2節)。

→

②家(家庭)は何によって建て上げられると言っていますか(3、4節)。

→

③どういふ人が勝利(良い結果)を得ると教えていますか(5、6節)。

→

2. 「愚か者に対する警告」(7～10節) *「愚か者」とは、わきまのない者(無責任、強情な者)

①「愚か者には知恵は珊瑚のよう」とは、どういう意味ですか(7節)。

→

②悪事を働こうと企む者(愚かなはかりごと)に対して、神はどうされますか(8、9節)。

→

③聖書は、苦難(逆境)の日にはどうするように教えていますか(10節)。

→

3. 「人生は七転び八起き」(11～16節) *「正しい人」とは、神を認め、神による頼む人。

①著者はなぜ命の危機に瀕している者を救い出し、助け出せと言うのですか(11、12節)。

→

②「わが子よ、蜜を食べよ」とは、どういう意味ですか(13、14節)。

→

③「悪しき者」と「正しい者」とは、どんな違いがありますか(15、16節)。

→

4. 「主と王を恐れよ」(17～22節) *「王」とは、地上における主の代理者のこと(権威)。

①著者はなぜ敵の失敗(つまずくこと)を喜ぶな(心躍らせるな)と言うのですか(17、18節)。

→

②著者はなぜ悪を行う者、悪しき者に対して腹を立てるなと言うのですか(19、20節)。

→

③「主と王を恐れよ(従うべき)」とは、どういうことですか(21、22節)。

→

【適用と分かち合い】